


登録日 2009/ /

登録番号

腫瘍名 小児急性リンパ性白血病(SR)

申請診療科 小児科

投与スケジュール

強化療法③-1	28日	
	<i>day</i> <i>1</i> <i>8</i> <i>15</i>	
<i>PSL</i>		
<i>VCR</i>	▲ ▲ ▲	
<i>l-Asp</i>	<i>L</i> <i>L</i>	
<i>Prednisolone</i>	40mg/m ² 経口分3 連日 14日間 最大投与量 60mg	day 1 - 14
<i>VCR</i>	1.5mg/m ² 静注 最大投与量 2mg	day 1, 8, 15
<i>l-Asparaginase</i>	10,000 単位/m ² 皮下注射 最大投与量制限なし	day 8, 15

注意事項

標準的には治療開始後 34 週から開始可能である
開始予定 3 日前以内の検査にて白血球数 1,500/ μ l 以上、血小板数 8 万/ μ l 以上。
皮下注は1mL/回以下になるように、ミキシングする。

参考文献

東京小児がん研究グループ
小児急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法と早期強化療法の有効性・安全性に関する検討試験実施計画書
TCOSG ALL L04-16 改訂第2版 (L07-16-02)

登録日 2009/ /

登録番号



腫瘍名 小児急性リンパ性白血病(SR)

申請診療科 小児科

投与スケジュール

強化療法③-2

14日

day 1
ID-MTX 
DIT 

MTX 500mg/m² 6時間持続点滴 最大投与量制限なし day1

前2回の中等量MTXによる強化療法のいずれかで、高度の粘膜障害・遷延する骨髄抑制が生じた場合に限りCFを1回投与する。

CF 15mg/m² MTX投与開始24時間後 経口投与1回

DIT HDC+MTX 髄注

	1歳	2歳	3歳以上
MTX	7.5 mg	10 mg	12.5 mg
HDC	15 mg	20 mg	25 mg

(髄注薬剤の溶解方法)

MTXは注射用水で溶解し2.5mg/mLとする。

HDCは必要量をシリンジに取る。

3剤を1本のシリンジにまとめて髄注する。

注意事項

標準的には治療開始後38週から開始可能である

開始予定3日前以内の検査にて白血球数1,500/ μ l以上、血小板数8万/ μ l以上。

参考文献

東京小児がん研究グループ

小児急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法と早期強化療法の有効性・安全性に関する検討試験実施計画書
TCCSG ALL L04-16 改訂第2版 (L07-16-02)


登録日 2009/ /

登録番号

腫瘍名 小児急性リンパ性白血病(SR)

申請診療科 小児科

投与スケジュール

強化療法③-3	28日	
	<i>day</i> <i>1</i> <i>8</i> <i>15</i>	
<i>PSL</i>		
<i>VCR</i>	▲ ▲ ▲	
<i>l-Asp</i>	<i>L</i> <i>L</i>	
<i>Prednisolone</i>	40mg/m ² 経口分3 連日 14日間 最大投与量 60mg	day 1 - 14
<i>VCR</i>	1.5mg/m ² 静注 最大投与量 2mg	day 1, 8, 15
<i>l-Asparaginase</i>	10,000 単位/m ² 皮下注射 最大投与量制限なし	day 8, 15

注意事項

標準的には治療開始後 40 週から開始可能である
開始予定 3 日前以内の検査にて白血球数 1,500/ μ l 以上、血小板数 8 万/ μ l 以上。

皮下注は1mL/回以下になるように、ミキシングする。

参考文献

東京小児がん研究グループ
小児急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法と早期強化療法の有効性・安全性に関する検討試験実施計画書
TCOSG ALL L04-16 改訂第2版 (L07-16-02)